

◆ 会員紹介 35 NPO法人 とうほくPPP・PFI協会

■**設立目的** 地域住民の視点と公益性の原則に立ち、PPP/PFIによって効率的効果的な公共サービスが提供される社会をめざし、「市民活力・民間活力をいかした公共サービスのあり方」を探り、提言するとともに、地域の活性化を図る調査研究及び支援活動を進め、地域創生型のPPP/PFIの実現で地域社会に貢献します。

■**設立沿革** 2000年11月みやぎ文化・PFI協会として宮城県よりNPO法人の認証を受け、2010年8月とうほくPPP・PFI協会へ名称変更にて認証。

■**会 員** 一般会員76社、団体会員1団体、特別会員は宮城県と県下35市町村。

■**活動エリア** 東北6県を中心に、支援要請エリアは全て。

■**活動報告** 新規または重点とする重点事業と、継続し必ず実施する実施事業に大別されます。28年度重点事業としては、▽15周年記念事業（内閣府+3省局長新春特別講演会）の実施▽「国際リニアコライダー計画」と「東北放射光計画」の事業化のための支援▽地域プラットフォームを活用したPPP案件の形成と人材育成スキームの検討▽市町村担当者による「公共FM部会」の立ち上げと対応策の検討の5つを柱に活動しています。実施事業としては、▽啓蒙普及▽人材育成▽事例調査・情報の収集と発信▽「東北PPP推進連絡協議会」主催事業の支援▽産業・文化教育振興事業支援▽PPP/PFI活用調査受託事業▽研究部会の活性化など7つの事業を中心に各種会議で実施しております。特筆されるのは、2007年11月に産学官で設立した「東北PPP推進連絡協議会」で、本協会と東北専門新聞連盟が構成メンバー、東北地方整備局、東北農政局、東北経済産業局、東北6県、仙台市、奥州市、紫波町をオブザーバーとして、本協会が事務局となり、東北振興のための多彩な活動を展開しております。主な事業として東北6県持ち回りの①PPP/PFIフォーラム、②3省局長新春特別講演会、③先進地視察④公民連携会議などがあげられます。

■**提言紹介** ◇PPP/PFI実現のための提言は／①「地域経営いかす“複数行政手法”によるPPPの導入を」②「民間発案の導入と対等なパートナーシップの構築へ！」③「導入目的の明確化と適切な性能発注規定・要求水準を」④「技術面・安全性確保で中立的施工管理者に管理委託を」⑤「2段階選抜と民間の総意工夫を活かす提案評価は70%に」⑥「導入・審査のプロセスの公開と地元企業参入の機会を」⑦「市場化テストで質を高め、財源と地域資源を有効活用」などです。ほかに、「復興に向けた5つの提言」「PFI事業を成功させる提言」があります。

■**近 況** 重点事業の15周年記念事業は、来年2月に内閣府PFI推進室からの講師と3省局長を招き「東北の持続的発展と地方創生」をテーマに開催予定。「国際リニアコライダー計画」事業化への支援は、12月6日に盛岡市で鈴木岩手県立大学長の基調講演、関係4首長のパネルディスカッションにより開催します。第14回地域活性PFIフォーラムは11月18日に、宮城県柴田町で約150人が参加しオガールプラザの岡崎正信社長、日本PFI・PPP協会の寺沢弘樹業務部長を招き、先進事例の紹介を行い、その後特別会員による「公共FM部会」を設立しています。



柴田町の第14回地域活性PFIフォーラム



「公共FM部会」の立ち上げ

NPO法人 とうほくPPP・PFI協会

会長：大滝 精一 副会長：伊藤 直司 風見 正三 専務理事：川村 巖
仙台市青葉区錦町一丁目10番10号 メゾン仙台 301
TEL 022-216-6222/FAX 022-216-6223